

ヒアリング評価を通じて得られた特に優れた事例 6

孤独感を抱えて働く若者の心のよりどころ／相談と交流の場事業

【事業費総額 3,679 千円（WAM助成金 2,322 千円）】



利用者たちが交流している様子



利用者が集まる「ユースポート Cafe」の様子

団体設立経緯

若者支援に関する厚生労働省事業を運営していた仲間内で、事業終了後も若者支援を継続したいという有志が集まり、平成 18 年に団体を設立しました。

設立当初から、「若者サポートステーション」、その後「ユースサポート・ユースワーク藤沢」等を受託開設しており、横浜市を中心に支援の場を拡大しています。

事業実施内容

これまでの事業を通じて、「働いている若者も経済的不安感や孤独感を抱えているケースがある」という新たな社会課題が浮き彫りになり、公的支援では対象外となる「就労中の若者」を対象にした相談支援・居場所提供事業を実施しました。

相談支援は、担当相談員とじっくり話せるような対話を大切にするなど心理的なサポートにも配慮するため、完全予約制で行いました。また、臨床心理士やキャリアコンサルタント、社会福祉士等の専門スタッフも在籍しており、専門的な支援も行っています。

若者同士が知り合うきっかけとなる「多様な学びの講座」、若者同士が安心して語り合い、人とのつながりを感じられる「交流タイム」は、孤独を抱えて働く若者に安心とやすらぎを与える場として機能しました。

また、利用者の声を運営に反映させることを重視したことで、利用者が気軽に意見を述べ、参加できる環境が構築されました。

事業成果

延べ人数 66 名が利用し、高い満足度を得られる結果となりました。

利用者インタビューでは、「心の支えとなっている」、「孤独感が緩和された」といった声が多数寄せられており、利用者のニーズに寄り添った支援を実施することができました。

同事業に対する評価

従来から取り組んできた若者への支援事業を通じて顕在化した、社会問題になりづらい「就労中の若者」の課題への取組みを事業化し、専門的支援によって利用者のポジティブな行動変容につながった点を高く評価しています。

内閣府の事業にも採択されており、着実に他地域への影響をもたらしていると考えられることから、広域へ普及していく「モデル事業」となることを期待しています。

特定非営利活動法人
ユースポート横浜

(神奈川県横浜市)

URL
<https://www.youthport.jp>

